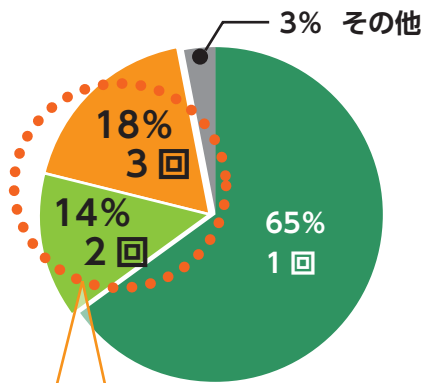


誤飲事故は再発する？

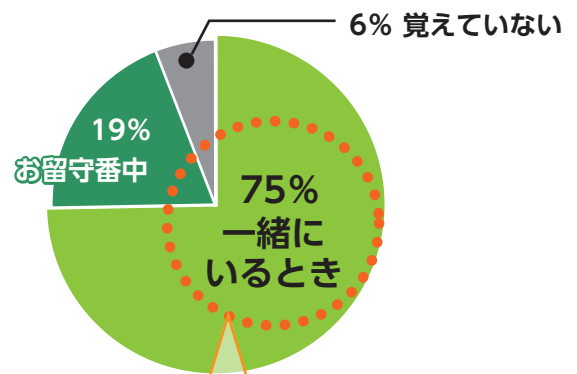
調査方法：アニコム損保のペット保険「どうぶつ健保」契約者に対し、インターネットでアンケートを実施
実施期間：2012年10月10日～15日（有効回答数：2,329）

誤飲事故経験者のうち約3割の方が2回以上経験しています！

◆誤飲経験回数



◆2回目以降の誤飲発生状況



2回目以降の事故の約7割は、飼い主さんとどうぶつさんが一緒にいる時に発生していることもわかりました。この結果から、どうぶつさんは飼い主さんが注意をしても、ほんの一瞬目を離した際に誤飲してしまい、再発してしまう可能性があることがわかります。

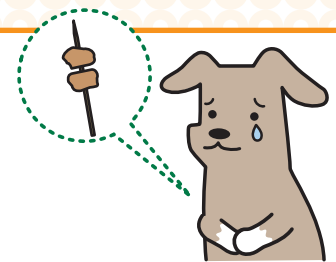
どうぶつさんの生活環境を整えて、誤飲事故の再発防止に努めましょう！

誤飲事故を予防する生活環境の整え方については次のページでご紹介します。

誤飲事故の再発状況の実例

●一瞬目を離した際に・・・

- ・電話や訪問者の対応等、ほんの数分、目を離した際に。
- ・子供に勉強を教えている数分の間に。
- ・同じ部屋にいて注意しているつもりだったが、仕事に集中した間に。
- ・買い物中、車の中でほんの数分お留守番をさせていた間に。

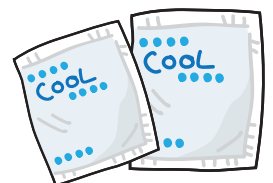


●目の前で・・・

- ・カレンダーをめくっているときに画びょうが外れて床に落ちたところ、一瞬で画びょうを食べてしまった。
- ・抱っこをしていた際に、飼い主の服のボタンを食べてしまった。
- ・お散歩中に、目の前で石を食べてしまった。

夏は保冷剤の誤飲に注意しましょう！

熱中症対策として、保冷剤付きバンダナや保冷剤入りのマット等、様々なグッズがありますが、目を離した際に保冷剤の中身を誤飲してしまう危険があります。使用する際は目を離さないよう十分注意しましょう。



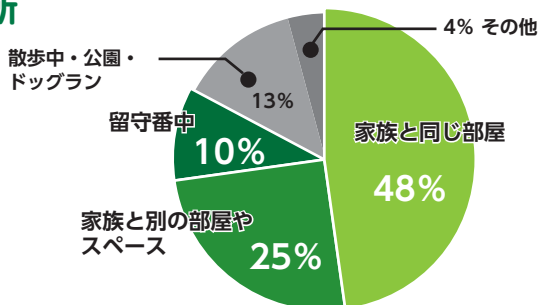
もしも食べてしまったら・・・

保冷剤の種類と成分、どのくらいの量を食べてしまった可能性があるかを確認します。エチレングリコールが含まれている場合は、腎不全を起こす可能性がありますので直ちに動物病院に相談し、指示を仰ぎましょう。

どうぶつさんの生活環境を整えて、誤飲を予防しましょう！

誤飲事故の約 8 割がお家の中で起きています！

◆誤飲が発生した場所



普段生活しているお家の中には、気をつけていただきたいポイントがたくさんあります。イラストを参考に、今一度どうぶつさんの生活環境を見直し、事故の起こりにくい環境を作りましょう！



1 観葉植物

種類によっては中毒をおこすことがあります。葉っぱが落ちていないか等こまめにチェックして、できるだけどうぶつさんの届かない所に置きましょう。また、お家にある観葉植物が中毒を起こす可能性がないかをチェックしてみましょう。

特に注意! コリ、ポインセチア、シクラメン、チューリップ等

2 ゴミ箱

ゴミ箱をあさって誤飲することがあります。ゴミ箱は蓋のついているものにするか、どうぶつさんの届かない所に置きましょう。

3 カーテン、ラグ

カーテンやラグをひっかいて遊んでいるうちに糸が出てくると、糸を誤飲することがあります。こまめにチェックをして、糸がでていたら切り取りましょう。

4 人の食べ物

目を離した隙に、テーブル上の食べものを誤飲することがあります。食べ終わったらすぐに片付けましょう。

5 おもちゃ

お子様やどうぶつさんのおもちゃを誤飲することがありますので、飲み込めない大きさを選ぶ、どうぶつさんの届かない所にしまう等の対策を心がけましょう。

6 クッション

遊んでいるうちに、綿や糸・ビーズ等が出てきて、誤飲することがあります。こまめにチェックをして、綿等が出ないように気をつけましょう。

7 ティッシュ

ティッシュの誤飲が多く発生しています。特に、触り心地がソフトなティッシュは甘みがあるため、どうぶつさんが大量に食べてしまうことがあります。どうぶつさんの届かない所に置きましょう。

8 コンセント

コードをおもちゃのように咬み切ってしまうことがあります。感電の危険性もありますので、注意が必要です。また、ケージの近くにコンセントがないかもチェックしましょう。コードを咬まないように、コードを覆う専用のケースを使用する事もおすすめです。

実例レントゲン写真から学ぶ vol.2

前号に続き、実際のレントゲン写真をご紹介します。

写真提供をいただいた動物病院様での誤飲の実例です。どうぶつさんは身近なものを誤飲してしまうことがありますので、生活環境を整えて誤飲を予防していきましょう。

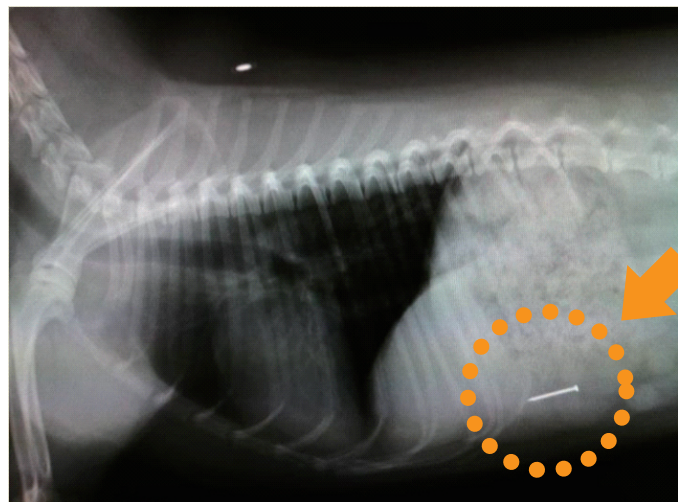


Case4: 画びょうの誤飲

● 品種/性別	パピヨン/男の子
● 誤飲時の年齢	3歳
● 処置	内視鏡
● 診療費総額 (手術代含む)	10万円~15万円

● 詳細

ワンちゃんがお子様と一緒に遊んでいた際、お子様が画びょうを床に落としてしまいました。その瞬間、ワンちゃんがあっという間に口に入れてしまい、あわてて口から取りだそうしましたが飲み込んでしまいました。全身麻酔下での内視鏡処置となりましたが、無事に画びょうを取り出しました。



写真提供：
東京都TRVA夜間救急動物医療センター
中村 篤史 院長

ワンポイント
アドバイス!



どうぶつさんは、食べられないものであっても床に落ちて転がっていくものには本能的に興味を持ち、口に入れてしまいます。また、慌てて取り戻そうとすると、取られまいと飲み込んでしまうため、こういった事故に繋がってしまいます。こんな時はまずは慌てないこと！「ちょうだい」のコマンドや好きなおもちゃ、おやつと交換することができると良いですね。(東京都・TRVA夜間救急動物医療センター 中村 篤史 院長)

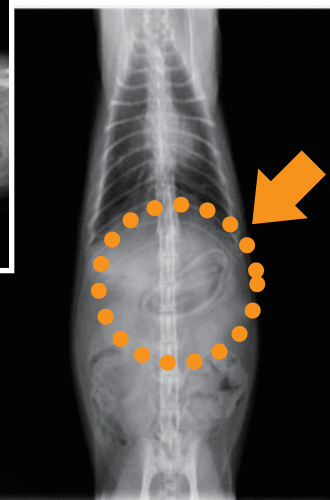
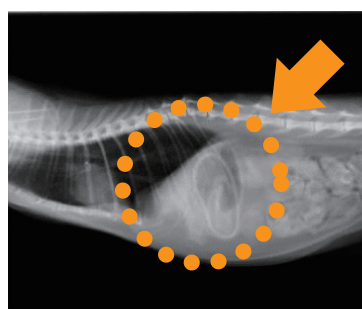


Case5: ゴムの誤飲

● 品種/性別	雑種猫/男の子
● 誤飲時の年齢	12歳
● 処置	内視鏡
● 診療費総額 (手術代含む)	5万円~10万円

● 詳細

嘔吐をしていたためレントゲンを撮り、全身麻酔下での内視鏡処置となりましたが、無事にゴムを取り出しました。



写真提供：
京都府 ひとみ動物病院
人見 誠 院長

ワンポイント
アドバイス!



ネコちゃんのご家族から、「うちの子、ヒモとか髪どめのゴムでよく遊ぶんです。隠しても探し出して遊ぶんです。」等のお話を伺うことがあります。ヒモは誤飲してしまうと大変危険です！ネコちゃんがヒモ状のものが好きなのはわかりますが、飲みこんでしまう危険性が高いのでご注意ください！

(京都府・ひとみ動物病院 人見 誠 院長)

⚠ どうぶつさんが食べたなら危険なもののリスト

危険な物を誤飲してしまった場合は、すぐに動物病院に連絡を取り、獣医師の判断を仰ぐようにしましょう。

糸やヒモ状のもの



飲み込んだ物の太さや長さによっては、腸閉塞や腹膜炎を起こしてしまう場合があります。口や肛門から糸やヒモが出ていることがありますが、無理に引っ張ると消化管粘膜などを傷つけてしまいます。絶対に引っ張らないでください。

ヒトの医薬品



薬の種類や摂取量によって中毒症状を起こすものもあります。薬のシート等をそのまま飲み込んでしまった場合には、咽頭部や食道を傷つけ、食欲不振や嘔吐などの症状が見られることがあります。

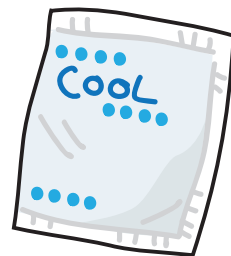
竹串・画びょう・針

先がとがった異物は、胃や食道の粘膜を損傷させてしまう可能性が高いので、吐かせないようにしましょう。



保冷剤

保冷剤の中には「エチレングリコール」が含まれているものがあります。「エチレングリコール」の摂取は腎不全を起こしたり、中毒を起こしてしまい、大変危険です。

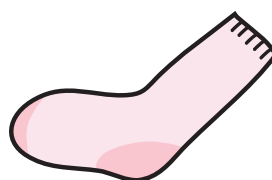


タバコ

タバコに含まれるニコチンが原因となる中毒症状が摂取後、数分間で起こります。興奮して活動的になり、よだれを流したり、嘔吐、下痢などが見られたりします。多量に摂取すると、震えやけいれんを起こして起立不能になり、昏睡に陥って死亡する場合があります。

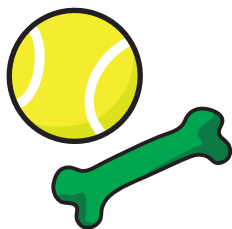


靴下・タオル等の布



胃内に留まったままであったり、腸閉塞をおこしてしまうと、嘔吐、食欲不振、腹痛などの症状がみられます。布類を引きちぎって食べているとヒモ状異物と同様に大変危険です。

ボール・おもちゃ



症状は、大きさと素材により異なります。飲み込んだ物が分かっている場合は、可能であれば現物が写っている写真を動物病院に持って行きましょう。

観葉植物



観葉植物や切花の中には危険な物がたくさんあります。中毒症状を起こし、嘔吐や下痢、よだれ、食欲不振などの症状がみられることが多いようです。中には、脳や心臓、神経などに作用する中毒物質もあります。

「どうぶつ相談室サイト」では、どうぶつさんのしつけやお手入れ、健康管理をもっと知っていただくための情報を掲載しております。ぜひご活用ください。

どうぶつ相談室

検索

【発行元】アニコム損害保険株式会社 〒161-8546 東京都新宿区下落合1-5-22 アリミノビル2F

【お問い合わせ先】

あんしん
サービスセンター

0800-888-8256

携帯電話・PHSからはこちらへ **03-6810-2314**

受付時間:平日 9:30~17:30 土日・祝日 9:30~15:30

※ご利用のIP電話のご契約状況により、左記「0800」の番号にはつながらない場合があります。

※サービス向上のため、通話内容を録音させていただく場合があります。